

大腸がん検診

大腸がんは比較的進行が遅く、早期に発見することができればかなりの確率で完治が望める病気です。しかし、早期の段階では自覚症状がほとんどないため発見が遅れることがあります。早期発見のために大腸がん検診を受けましょう。

大腸がんは女性のがんによる死亡数の第一位、男性の第三位です！

日本における大腸がんの罹患率（一生のうちに大腸がんと診断される割合）は男性では11人にひとり、女性の場合は14人にひとりとなっています。

大腸がん検診の検査方法は？

大腸がん検診は次のとおりです。

【問診】

大腸がんの症状である下痢や便秘、血便、便が細くなるなどの症状が無いかを確かめるために実施します。

【便潜血検査】

便に潜む血液の有無を調べるため『検便』を行います。検査は検査キットのステックに便をこすり付けて密閉された容器に入れるだけの簡単なもので、2日分を採取し検査します。

40歳になったら大腸がん検診を受けましょう

大腸がんになる人が増え始める40歳以上の方は、毎年継続して検診を受けることをお勧めします。年に一回は便潜血検査による検診を受けておくと安心です。

大腸がん検診で

『陽性』となったら

便潜血検査にて『陽性』となった場合には、大腸内視鏡検査による精密検査を行います。検診後の精密検査（一次検診）は健康保険が適用されます。検査は美濃病院で受けることができますので、ご不明な点は美濃病院健康管理室(333・5050)にご相談ください。

美濃市の大腸がん検診

美濃市にお住まいの方で30歳以上の方は年に一回、個人負担500円で大腸がん検診を受けることができます。検診を受けたい方は美濃市保健センター(333・0550)にお申込みください。
※多くのがんは早期の段階で発見できれば高い確率で治せる病気です。「どこも悪くないから自分には関係ない」と考えるのではなく「どこかにがんが隠れているかもしれない」という意識をもってがん検診を受けることが大切です。

健康の入口は歯から！

8020運動推進事業表彰

晩秋の風に落ち葉が舞う11月14日、第40回美濃市産業祭会場にて、平成27年度8020運動推進事業の表彰式が執り行われました。

この表彰は、美濃市と美濃歯科医師会が共催するもので、歯の健康管理の大切さ、市民の生涯を通じて生活の質の向上を図り、健康の保持促進を目的としています。

この日の表彰式では、代表の澤田善太郎さん・浅子さんご夫婦と長屋香苗さんに、市長から賞状が授与されました。

今年度は次の51名の方が表彰されました。(地区別50音順・敬称略)

【美濃地区】 (15名)

足立文一 市橋榮 加納博 河村邦子 児山秀子 佐藤二郎
澤田浅子 澤田善太郎 長尾武 長屋香苗 服部光廣 林ますゑ
古田栄次 村山芳男 森博子

【洲原地区】 (3名)

後藤國夫 櫻井トミ子 藤田眞弓

【下牧地区】 (10名)

井上歌子 今川末子 武井壽輔 武井壽 西村和子 西村早苗
西村博行 平林教二 平林秀将 榎井タカノ

【上牧地区】 (2名)

佐藤昌子 船戸多津江

【大矢田地区】 (7名)

岩田芳子 梅村晃 梅村かず子 大西節子 後藤洋子 澤部入工
辻喜久子

【藍見地区】 (5名)

伊藤つや子 神部善夫 河村すゞ子 野倉妙子 服部知か子

【中有知地区】 (9名)

城戸脇洋一 下村光男 須田榮子 田中喜三 西部ヤエ子
西村とみゑ 平田千恵子 古田千代子 古田久敏

